

令和2年度 大阪府立茨木支援学校 第3回学校運営協議会 議事録

日 時	令和3年3月8日 (書面にて審議)
参加者	<協議会委員> 6名 <茨木支援学校> 校長 准校長 事務長 教頭2名 指導教諭 教務部長 首席3名 部主事3名
主なテーマ	令和2年度学校経営計画評価について 令和3年度学校経営計画(案)について
協議内容の概略	校長・准校長あいさつ 1 令和2年度 学校経営計画評価について 2 令和3年度 学校経営計画(案)について 3 令和2年度 学校自己診断アンケートの評価について 4 令和2年度 使用教科書の取り扱いについて 5 新型コロナウイルス感染症対策について ・マニュアル等の変更点について ・各学部の様子 各部主事より 6 意見書について ※「新型コロナウイルス感染症」対策として、書面審議の形式で実施。

○意見書について

令和2年2月25日の時点ではなし

1. 令和2年度学校経営計画評価について

承認の可否について	承認する (6)	承認しない (0)
【協議員からのご意見等】		
《中期的目標5項目について》		
1. 人権に関わる活動が目標に達してるとの評価は、学校として大きな誇りだと思えます。子どもたちの自己肯定感に変わらないものであると思うからです。		
2. 保護者との関係においては、課題もあるとの評価ですが、学校の努力はよく見えて伝わっているように思います。引き続き宜しくお願いします。		
3. 本年は、コロナ禍の影響もあり、普段の取り組みが大きく制約を受けることもあったと思えますが、それでも新しい外部人材の発掘等、成果も上がり良かったと思えます。		
4. 個々の子どもの実態に応じた教育支援計画に基づく実践事例集は学校の財産になるものだと思います。是非早期に完成をお願いします。高等部生徒については、校内実習・		

現場実習の更なる充実をお願いします。

5. 教育公務員としての自覚・誇りをもち、後に続く後輩教員のためにも、自身をもった指導を通して、範を示し子どもたちの成長発達に寄与していただきたいと思います。

- ・コロナ禍においての様々な対応も含めた適切な自己評価であると思います。
- ・本年度はコロナウイルス感染症対応で色々な面でむつかしい事が多かったと思います。応援しております。
- ・事業、行事が中止になったりして取り組みが充分実施出来なかったでしょうが、今後の新しい形を検討する機会を得たと前向きにとらえてください。

## 2. 令和3年度学校経営計画（案）について

承認の可否について 承認する（6） ・ 承認しない（0）

### 【協議員からのご意見等】

・新年度の計画作成については、本年度の評価反省の上に立って計画を作成されると思いますが、その際目標が達成された項目においても継続的に実施が望まれるものと、その年度限りで良いものと両方あるように思います。そのため総花的では、中途半端となりやすく、絞りすぎても子どもたちや保護者の期待に応えられないように思います。そうした中、計画（案）は、項目数やその表現等で、かなり変更され、うまくめりはりのあるものになったように思います。先生方が本年度の活動をどう総括し、次年度に繋げていこうとされているのか、よくわかるように思います。やはり、本年度はコロナ禍という異例の年度で、その影響を受けるのは、当たり前のように思います。ただ学校は現状に対応しながらも従前の教育の良いところは継承しなければと思います。オンラインやバーチャルの授業を追求しながら、対面の人と人が直接触れ合う学び場の復活は大切だと思います。

1について・・・・・・（1）～の学校支援体制（組織）の構築との表現は遠慮し過ぎで、～の強化で良いように思います。学校には、従前より立派な組織はあると思っています。

2について・・・・・・他の項目に記述されていますが、この頃に体罰を許さないという学校の意思を表現しそのための持続的な研修、保護者への情報提供をお願いします。

4について・・・・・・（2）自立活動的見方を取り入れることは、支援学級の原点とも言えると思います。全ての教育活動に生かしていただければと思います。

5について・・・・・・教員の労働環境については、新聞等では、ブラック職場というような表現もあります。全てが当たっているとは思いませんが、やはりその影響もあり、受験者数も減っているようです。是非子どもたちのために、多くの有能な後輩が受験するような労働環境の改善が急務のように思います。

#### 【めざす学校像について】

4 「一本筋の通った」にプラスして「体系的な」の意味合いが含まれた表現があればなお良いと思いました。

#### 【中期的目標について】

- ・令和2年度計画より、「人権」が3ヶ所とも消えていますが、その理由(経緯)をまたご説明ください。
- ・学校生活全般に「自立活動的見方」を取り入れとありますが、「自立活動的見方」について、またご説明ください。
- ・道徳教育の全体計画、道徳科の指導方針の設定、教育課程にどのように位置付けるか・・・など、シラバス策定は大変な作業だと思いますが、どうぞよろしく願いいたします。
- ・校内マニュアルは「食物アレルギー対応マニュアル」「食物アレルギー緊急時対応マニュアル」「医療的ケア対応マニュアル」など細分化されているのでしょうか。
- ・小・中・高とうまく連携した学校となりますよう学校づくりを進めてください。」
- ・小中高の連携、よろしくお願い致します。

### 3. 【令和2年度 学校自己診断アンケートの評価について】

- ・保護者アンケートについては、回収率も肯定率も増加と望ましい変化になっています。コロナ禍ではありましたが先生方が連絡帳などで保護者とのきめ細やかな連絡を取り合いよい関係性を目指そうとした姿勢が評価されたという分析は当を得ているように思います。
- ・学校ホームページによる情報発信の効果は大きく、コロナ禍で更に有効性が高まり、今後ますます保護者等の期待が高まるのではないかと思います。
- ・個別の指導計画に沿った事業の充実を図るうえで、個人の創意工夫の原点ともなるべき先輩同僚の積み重ねられた教材集などが編さんされることは、大変意義のあることと思います。
- ・学校運営の要である経営計画の作成・実施等の項目評価が教職員で肯定率が上がったことは望ましいことですが、ボトムアップが全て望ましいとはならないこともあり、最終校長等の意向を反映すべきものであると思います。
- ・生徒アンケートも望ましい方向に評価が向上していることは、嬉しく思います。
- ・保護者アンケートで、授業に関する肯定的評価率が向上したことが大変素晴らしいと思います。

- ・保護者アンケートの回収率が増加したのは、学校への関心度が増したという事と思います。良いことだと思います。

**【保護者アンケートについて】**

- ・コロナ禍で子どもの学校生活はどうなるのか、保護者もいつも以上に興味を持ったと思います。
- ・次年度以降も引き続き HP・さくら連絡網・連絡帳・プリントなど活用して、情報提供をよろしくお願い致します。

**【生徒アンケートより】**

- ・毎年先生の異動もある中で、新しい項目②の肯定率が高く、①・⑨も増加したことは、今年度において担任の先生・学校の先生と良い関係性（信頼関係ができていますか）が築けている結果だと思います。
- ・来年度以降も、引き続き保護者とのコミュニケーションをとりつつ、生徒との良い関係を築いていただきたいと思います。

**【令和2年度 使用教科書の取り扱いについて】**

- ・本年度はコロナ禍の影響で休校期間中、学習等に役立てていただけるような教科書を家庭に郵送したとのこと、良かったと思います。家庭によっては戸惑われたりして、誤って廃棄されたりした家庭が出たとのことですが、大半の家庭では、うまく利用されたものと思っていいのではないのでしょうか。  
後半に書かれてますが、今後また郵送されたりする場合、周知方法を工夫していけば、学校側の意図は充分伝わり喜ばれるのではないかと思います。
- ・使用教科書：ご家庭向けの丁寧なご連絡をありがとうございました。
- ・休校時に各学部で選んだ教科書を郵送していただきありがとうございました。  
学校再開時に高等部での未返却と紛失・廃棄があった事は残念です。
- ・選んでくださった教科書が各家庭（生徒の自宅学習）で必要なのか、郵送前にアンケートを取っていただけたらと思います。
- ・我が子の場合、自宅での絵本等は見ているうちにページを破いてしまったりすることが多いので、登校再開後に使用する教科書を郵送していただいても子どもに見せる事は控え、しまい込んでいました。
- ・今後の臨時的対応時についても、各家庭への教科書の取扱いの周知は続けていただきたいですが、教科書ではないもの（教科書に代わる物、返却が不要な物）も生徒によっては考えて頂けたらと思います。

## 【新型コロナウイルス感染症対策について】

- ・現状子どもたち及び教職員の皆様方に感染者がいないのは素晴らしいことです。ですが仮に感染者が出ても、そのことを責めたり、批判するようなことがあってはいけません。このことは学校全体で共通理解し、保護者や地域社会に情報発信していただきたいと思います。
- ・学習環境の整備を図り、また放課後の感染症対策として全教職員でアルコール消毒を行う等本当にご苦労さまです。
- ・今後についても予断を許しませんが今までの知見と教職員・保護者の連携協力そして何より子どもたちの頑張りで、書かれているような対応をされれば必ずやここコロナ禍を乗り越えられると思います。
- ・新型コロナウイルス感染症対策について：予防的な指導も含め、内容を逐次更新しながら進めていただき、ありがとうございます。
- ・教職員の皆さま、保護者とも感染予防に努めていただいたおかげで、茨木支援での感染者が出ていない事に感謝いたします。
- ・口腔ケアですが、誤嚥性リスクだけでなく、生まれつき歯の質が弱い生徒もいます。習慣と言う意味でも歯磨きの再開を願っております。
- ・もし、歯磨きが再開された折には、まずはイソジンでうがいをしてから歯磨きをするなど、お互いの感染リスクを避けていただけたらと思います。

## 【その他】

### 【各学部からの様子を読んで】

- 小学部・・・子どもたちは、なくなった行事もありましたが、修学旅行は日帰りで行ったり、芋ほりも工夫して楽しんだりすることが出来ましたとありました。1年から6年まで、それぞれ着実に成長しているのだと思います。
- 中学部・・・大きな制約があった中での取り組みでしたが、オンラインの取り組みを通して家にいながらも、友達の様子を見たり伝えたりすることが出来たのは、とても貴重な体験となりましたと記されています。先生方の裏方での頑張りに感謝です。
- 高等部・・・10月からの银杏祭の取り組みを詳しく報告されました。子どもたちは普段とは違った银杏祭ではあったと思いますがさすが高等部、良く結果を出しました。ご苦労様でした。
- ・個人情報保護の観点から、作品と名前・顔が一致しない展示方法を実施されている事は理解できるのですが、今年度においてはコロナ禍で学校に行くことも少ない中、校内に提示されている作品を見ても個人的にどれが我が子の作品か分かりません。子ども個人のマーク・印を作ったり決めていただき（幼稚園などの登園シールでも）作品にその印を付けていただけるとわかりやすいと思います。特に高等部は iPad mini を

各自持っているので、自分のアイコンを作る（後ろ姿や花の写真、お気に入りの写真でも）ことが出来るのではと思います。

- ・障がい児者が地域で暮らしていくためには、その地域で知ってもらうことが大事だと思います。居住地での学校交流については双方の学校の理解がなければ実現できませんが、ぜひ、積極的に地域校に働きかけて頂けたらと思います。（小・中）
- ・保護者への情報提供について、モバイル端末の保有率が90%を超えている時代でも、情報収集が難しい保護者はいます。学校が知り得た情報について、学校側が選択するのではなく、その情報が必要か否かは障がい児を育てている保護者が選択することであって欲しいと思います。
- ・コロナウイルス感染症への対策を意識しながらの学校生活はむづかしい事だと思います。福井地区でも、一人ひとりの意識を高めクラスター発生は、阻止したと努めます。

#### 【意見書について】

- ・令和3年1月27日現在 意見書はございませんでした。